学校番号	1006

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	実教出版 図説 家庭基礎						
副教材等	実教出版 図説 家庭基礎 学習ノート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭基礎で学んだ知識、技術を基とし、生活の主体者となるための知識・技能（ミシン縫製、手縫い縫製、調理、保育分野）を中心に学習していきましょう。
・実践的・体験的な学習を通して，理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。
・学んだことを自身の生活課題，社会の課題として捉え，充実した生き方をめざしましょう。

2　学習の到達目標

① 生活の主体者となるための知識、技能を身につける。生活における問題点を見つけ、積極的に問題解決に取り組んでいく。正しい情報を選択し、よりよい消費者として社会を構築してく意識をもち生活していく。
② 制作のための道具を正しく扱い、手芸品を創造的に製作できる。自分の手芸品を表現できる。
③ 積極的に服飾に活用する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活の主体者として必要な知識を深め、技術を深めていく。食・衣・住といった領域を超えて、消費者として正しい情報を得、正しい選択をする技能を身につける。 製図やデザイン、手芸に関する基本的な技法に関する知識・技術を身に付けている。	家庭生活を総合的に捉えて計画・実践するために課題を見いだし、豊かな家庭生活の推進に寄与するために、その表現方法を創意工夫する姿勢を身に付けている。	家庭生活に関する諸問題に関心をもち、豊かな家庭生活の推進に向けて、積極的に取り組もうとする姿勢や態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1・2学期	基礎縫い	○手縫いの基礎 ＊玉留め、玉結び ＊基本の手縫い ＊運針練習 ○ミシンの構造 ・ミシンの扱い方	a：基本技術が身についているか。 ミシンの構造や扱い方、糸調子や縫い目の粗さ、糸の種類について正しい知識が身についたか。 b：計画的に製作にあたっているか。 c：意欲的に取り組もうとしているか。	○実技試験 ○授業観察 ○小テスト	○実習レポート ○授業観察	○自己評価表 ○授業観察
	製作①	○製作① ＊製図 ＊裁断 ＊ミシン縫いの基礎 ＊手縫いの基礎 ＊デザイン	a：布の裁断技術、基本の縫製技術、ミシンの扱い方等の技術が身についているか。型紙の書き方、印付けのコツ、まち針の正しい止め方等の知識・技能が身についているか。 b：計画的に製作にあたっているか。自分なりのデザインを作品に表現しているか。 C：作品に興味を持ち、イメージを膨らませて意欲的に取り組もうとしているか。	○製作過程の評価 ○作品の完成度 ○授業観察	○実習レポート ○作品のデザイン ○授業観察	○自己評価表 ○相互評価 ○授業観察

1・2学期	製作②・調理実習	○製作② ＊作品の構成 ＊手縫いの基礎 ＊デザイン ○調理の基本 ・包丁・まな板の使い方 ・だしの取り方 ・米の炊き方 ・食材の切り方 ・計量器の使い方 ・食品の衛生 ○調理実習・調理実験	a：基本の縫製技術、などが身についているか。型紙の書き方、印付けのコツ、まち針の正しい止め方、ﾎﾞﾀﾝ付け、手縫いについて知識が身についているか。 食品の特徴、調理上の性質、調理による成分の変化、食品の衛生と安全に関する基本的な知識を身に付けている。 b：計画的に製作にあたっているか。自分なりのデザインを作品に表現しているか。 食材の切り方、調味、加熱やその他の調理操作等が料理の出来上がりやおいしさに与える影響について考えを深めている。 C：作品に興味を持ち、イメージを膨らませて意欲的に取り組もうとしているか。 料理の目的について、安全性、栄養、心身の健康、文化の伝承などの面から関心を持ち、意識的に学習に取り組もうとしている。	○製作過程の評価 ○作品の完成度 ○授業観察	○実習レポート ○作品のデザイン ○授業観	○自己評価表 ○相互評価 ○授業観察
3学期	保育分野	○子どもと関わる、親になることを考える。 ○保育とは生命を扱うことであることの意識付け ○子どもの発達 ○基本的生活習慣と社会的生活習慣 ○子どもの発達と遊び	a:保育者としてのマナー、言葉遣いを知る。子どもの発達と遊びを知る。 b: 保育者としての適切な関りを考える。子どもの発達に合わせた遊びを考える。 c:保育者として子どもに積極的に関わる。子どもの性格や発達に合わせた関わり方をする。	○授業観察 ○学習プリント ○レポート ○小テスト	○授業観察 ○学習プリント ○レポート	○授業観察 ○グループワーク ○レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度